

代表
質問

水害に強い桜区へ

代表質問で市の水害対策について質問しました。昨年の台風19号で桜区新開、桜田地域の浸水は深刻なものでした。市はこの地域の今後の水害対策として、今年度、シミュレーションを実施して新たな治水対策を考えるとのことです。シミュレーションはどのように進んでいるのか質問しました。市は浸水状況の調査や現地の地形などをデータ化したモデルを現在作成してそのデータを活用して今後対策を考えるとのことでした。私は「今後台風19号相当の大雨が降っても浸水しないような対策を必ずや講じていただきたい」と強く訴えました。

避難タワーをつくりたい！

水害時の避難は、河川の氾濫が予想された場合、広域避難をすることとされています。しかし、高齢者などは、遠くへ避難するのはまさに命がけで危険です。実際に河川氾濫が起きた場合、逃げ遅れてしまう方が相当数いるのではないかと予想します。広域避難が困難な方々のために、高層住宅と協定を結ぶなど、垂直避難のできる場所を多く確保しておく必要があると考えます。

桜区は荒川氾濫時は、ほぼ全域が浸水します。町の90%が浸水区域という茨城県境町では逃げ遅れた方のために、水害避難タワーを建設しました。私は避難タワーの写真を示し、桜区に避難タワーを建設するよう求めました。市の答弁は、高層住宅との協定、避難タワーの建設にも後ろ向きでした。しかし、私は今後もあきらめず声を上げていきたいと思っています。



代表質問の動画はさいたま市議会のホームページ、または私のYouTubeからご覧いただけます。ご覧いただけたら幸いです。

さいたま市議会
ホームページ



久保みき
YouTube

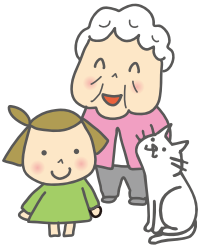


虐待をなくしたい

私の元には高齢者の虐待の相談が相次いでいます。寄せられた相談は、施設内での虐待で「1ヶ月近く入浴させてもらえない。しかし、入浴加算は請求されていた」「具合が悪くても放置されている」「薬を間違えても事故報告がない」など深刻なものでした。老後のくらしを支える頼みとして入所した施設の中でこうした虐待を受けているという痛ましい事実です。

高齢者だけでなく児童虐待も深刻な社会問題となっています。東京都目黒区の5歳の女の子、千葉県野田市の小学4年生の女の子、そして最近では東京都大田区で3歳の女の子が8日間置き去りにされた事件など、悲惨な児童虐待のニュースが後を絶ちません。また、さいたま市の児童相談所での令和元年度の虐待対応件数は過去最大、平成27年と比べて約5倍になっています。本当に深刻です。

そして、さいたま市は猫13匹に対して熱湯をかけるガスバーナーであぶるなど凄惨な虐待を行った犯人の住んでいた市です。そのことを踏まえて、さいたま市独自の「高齢者、障がい者、児童、動物に対する虐待を禁止する条例を制定すべき」と求めました。



コロナ禍で困っている 市民を助けない



議会では、PCR検査など検査体制の充実、保健所の機能の拡大、市立病院の旧病棟の活用を求めました。4月の段階で60件だった一日の最大検査数が750件まで可能になりました。

この間、市議団で小規模事業者へのアンケートを実施し、そこに寄せられた声を市に届けました。

福祉現場や保育士から寄せられた相談や声をまっすぐ議会に届け、前進させてきています。

これからもたくさんの声をお寄せください。

久保みき

市民生活
委員会

リサイクルを もっと進めよう

さいたま市のゴミの分別の決まりをみると、リサイクルできるはずの物がリサイクルゴミに出せない決まりになっています。たとえば、ペットフードの缶は汚いという理由から、リサイクルには出せず、燃えないゴミに出すこととなっています。

実際にペットフードの缶を示し「簡単に洗うだけでこんなにきれいになるのに、どうしてリサイクルできないのか？」と迫り、市は「来年4月から見直しし、改めることを検討する」と答えました。



日本共産党

さいたま市議会議員

久保みき

お問い合わせ
久保みき事務所：桜区道場3-15-20
TEL 048-762-8819
市議団控室
TEL 829-1811



久保みきサイト 久保みきブログ

